

日本ビルマ救援センター (Burmese Relief Center - Japan)

～真の民主化が実現されるまでビルマの人びとの平和と未来のために～

近年、ビルマ(ミャンマー)の変化は著しく、民主化が進み、全ての人びとに平和な暮らしが戻ったように思われています。しかし、国境地帯での国軍による攻撃や略奪、強制労働、強制移住が今も続いています。ロヒンギャーの問題は多くの方々に周知されています。

当センターは子どもたちの教育や女性の自立を中心に、タイ国境に暮らすビルマの人びとへの支援活動を続け、一昨年30周年を迎えました。



日本ビルマ救援センター (BRC-J)

〒536-0025
大阪市城東区森之宮2-2-8-609

URL : <http://www.brcj.org>

E-mail : brcj@syd.odn.ne.jp



日本ビルマ救援センター

Pastel (パステル)

こんにちは！私たちは「私たちも難民もパステルカラーに！」をモットーに、立命館大学で唯一難民問題について研究・支援を行っている団体です。普段は勉強会や食のイベントを通して認知啓発活動をしています。一緒に難民問題について考えてみませんか？



限定販売 (数量限定)

地球文化祭vol.3記念トートバッグ

日本の桜のように、儚く美しい国花のパダウ(インド紫檀)と、もう一つの国花であるタジンを描きました。

桜が日本人の心の花であるように、パダウも、ミャンマー/ビルマで深く愛されています。この花を想う心を、美しいロンジ一姿の女性で表しました。

(デザイン：MEIKO ILLUSTRATION)



GLORRY (グローリー)

～ Glocal Links Of Refugees and RAFIQ Youths ～

GLORRYはRAFIQの若手メンバーが中心となって活動している団体です。主な活動は、体験型に特化したワークショップのGLORRYゼミ(毎月第1土曜日)と、RAFIQで支援している難民の出身国を中心に、難民にも参加してもらい、彼らの祖国の歴史や文化、料理などを紹介する地球文化祭(年1回)です。人々や国家が分断され、ますます混迷する世界情勢のなかで、これからの未来を担っていく若い世代だからこそ、国際的な視野と経験をもとに、難民としてではなく彼らとともに笑い、悩み、同じ「人」として繋がり、難民にとってよりよい社会を創るために、一歩ずつでも歩き続けます。

※ GLORRYゼミには予約が必要
ですので、事前にご連絡ください
(3日前に受付終了)

SNS あります!!



いいね&シェア
お願いします!



GLORRY (グローリー)



RAFIQ内

〒532-0002
大阪市淀川区東三国4-9-13

TEL/FAX: 06-6335-4440

GLORRY専用

Mail: glorry.refugee@gmail.com

RAFIQ
ホームページ

